

潮が



清正公まつり(清源寺区)



七夕まつり(東荒神区)



えべっさん海祭り



長洲祇園祭

平成28年第2回(6月)定例会

平成28年度一般会計補正予算を可決

②

平成28年第1回臨時会

④

一般質問 11人が登壇し町政を問う

⑤

無病息災、大漁豊作、安全が祈願された町内各地区の夏まつり。

地域の絆を深め、伝統が息づく夏まつりが今年もまた継承された。

かせげる

平成28年 第2回(6月)定例会

農業を応援

全議案可決

6月定例会は、6月20日から24日まで5日間の会期で開催した。

補正予算2件、指定管理1件、繰越明許1件、諮問1件、議員提案3件を審議し、全議案可決した。



かせげる農業へ
7235万円

ミニトマト農家(第7ハウス管理組合)に
低コスト耐候性ハウスで支援。



ワイヤレス放送整備費
(鷺巣区)
250万円

ワイヤレス放送システムを
鷺巣区に整備。



防災行政無線システム
再整備
350万円

県からの防災情報受信のための
機器を更新。

一般会計
補正予算

7835万円



人事案件

全員賛成
適任者として答申



山内 順子氏
(高田区)

○人権擁護委員



長洲町総合スポーツセンターの
指定管理者が決まりました。

団体名
長洲町SSC共同
事業体
(注) (株)サンアメニティと
NPO法人長洲にこに
こクラブの共同事業体

代表者
株式会社
サンアメニティ

期間
平成28年
10月1日～
平成33年
3月31日まで

審議結果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…×
*議長は表決に加わりません

議案 番号	件名	福本 みや子	大森 秀久	竹本 信次	荒木 睦子	磯野 博	浦辺 朝章	樋口 エミ子	宮本 哲太郎	市原 一広	浜村 芳光	徳永 範昭	福永 栄助	浜崎 久	松井 一也
議案 24号	平成28年度長洲町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 25号	平成28年度長洲町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 26号	長洲町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



一、被災者生活再建支援法の改正を求める。
最大300万円の支給額の引き上げ。

二、熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める。
県内市町村の危機的な財政状況への特別立法措置。



意見書提出

熊本地震に強力な支援を求め、全議員一致で国へ意見書を提出しました。

三、行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める。
災害復旧と防災機能の強化に取り組む特別措置。

お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

長洲町議会議員一同

平成28年熊本地震において

平成28年 第1回

臨時会

平成28年5月27日

一般会計補正予算
他承認3 議案1を可決

地方創生加速化交付金に関する補正予算

264万3千円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ63億2千377万円とする。

〔主な質疑〕

問 (大森議員)

加速化交付金が満額交付されることになったのは、何が評価されたのか。

答 (まちづくり課長)
人材育成し雇用・定住化を図ること、農林水産業への支援、金魚を核とした観光等を評価された。

**小学校普通教室工
アコン設置工事請負
契約の締結**

〔主な質疑〕

問 (磯野議員)

1社で小学校4校の工事ということだが、夏休みの間に工事を行うことは可能か。

答 (総務課長)
可能である。

問 (福永議員)
この応札での落札率は何%か。またエアコン設置工事の種別は何か。

答 (総務課長)
請負率は97.54%である。また建設工事の種別は管工事である。

問 (福永議員)

工事の種別を変えれば、町内の他の企業にもチャンスがあったのでは。

答 (総務課長)
管工事は、冷暖房・空気調和・給排水・衛生等と建設業法で規定されている。

問 (濱崎議員)

4校一括で発注したメリットは。

答 (総務課長)
工事費積算の時、直接工事費が高いほど諸経費が安くなる。そのため一つの工事としている。

国民健康保険特別会計補正予算

平成27年度国民健康保険特別会計の決算で、医療費がふえたことにより2373万円の赤字の見込みとなり、赤字になる金額を平成28年度の予算で補填した。
(繰上充用)

《医療費がふえた理由》

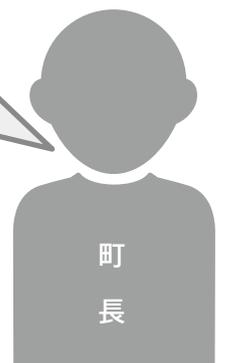
昨年度と比較して、がん・神経性疾患・心疾患・消化器系疾患(胃・十二指腸)等の医療費がふえた。また、年齢別では60歳～65歳、70歳以上の医療費がふえた。

問 平成27年度に国民健康保険税を改定した、その年に、なぜ繰上充用をしなければならないのか。

答 平成27年度の医療費は平成26年度と比較し6400万円増額している。また1月・2月・3月の医療費が伸びてきたので繰上充用となった。

〔主な質疑〕

賛成 12
反対 1
可決





濱崎 久議員

旧法時、代理出席は反省もなく、今も考え方変わらないか 答 現在も考え方変わっていない

問 教育長の代理出席を、いつ決定されたのか。

答 (教育長) 教育委員長が出席できないというようなことがあったので代理出席している。

問 委員長が出席できない場合、教育長が代弁することは、法で決まっている。

年当初に1年間の代理出席を決められたのであるが、長洲町の議会では、委員長の代弁は、教育長がするということ慣例化している。それが違うのだという。委員長の代弁も、教育委員会では、

議会答弁は全て教育長に委任することを決定し、今までの議会では教育長を出席させていたと答弁している。こうした悪しき慣例化を25年12月議会から指摘している。

答 (教育長) あらかじめ1年分を確認したが議会は年4回、毎回委員長に出席要求されるので年1回確認するだけでは適切ではなかったというふうに変えようというふうであった。

申し訳なかった。あらかじめ確認しておくということは適切でなかったと反省している。

金魚と鯉の郷広場

目的外使用の違反行為全容について

答 改善がなされたので、処分等は考えていない

問 目的外使用がなぜなされたのか。

答 (町長) なぜ建設資材が置かれたのか把握していないが調査はしない。

問 課長は目的外使用を24年12月に、この内容を把握し、認識しているかと答弁している。では25年3月までの使用料を徴収するか、6条2項の違反の申請をさせるべきでないか。

答 (総務課長) 改善を求めて改善されたので違反はしてないと考える。使用料も徴収しない。

中学校内での女生徒暴力事件、責任とったか

答 この場での発言、控える

問 この事故は事前に予知されるべき学校全体の注意義務違反であり、教育委員会の指導不足が原因である。学校の安全対策は一体どうなっているのか。教育委員会として責任があると答弁されたが、どう責任をとったのか。

答 (教育長) 裁判中である。



松井一也議員

金魚と鯉の郷広場修景池の管理状況は

答 修景池のあり方も含め検討、整備していく

町政を問う



修景池の環境整備を

問 金魚と鯉の郷広場にある修景池の管理状況と、今後の改善について伺う。

答 (町長) 修景池については、冬場年1回、1週間ほどかけて清掃を行っている。噴水については、老朽化のため、現在、使用を中止している。

池に底栓をつける考えはないか。

問 修景池には底栓がなく、アオコが発生しやすい状況である。

答 (まちづくり課長) 現在はポンプでくみ上げ処理しているが、アオコ等には苦慮している。今後は管理をどうした方がいいか検討させて欲しい。

する方法もある。そういう設備を設けたらどうか。

答 (町長) 金魚の館はリフォームして以来、年間30万以上の人が訪れている。修景池のあり方も提案等を参考に整備していきたい。

問 底栓を3カ所とつて、ろ過器を設置

この駐車場の一般の利用は少なく、何十年も近隣の人の営業車や家用車が駐車し続ける、不法占有状態があつたのでは。町は把握していたか。

第2駐車場の管理は適切に行われているか

答 現在は適切に行われていると考えている

行われていると考えている

問 金魚と鯉の郷広場第2駐車場の管理運営について伺う。

答 (町長) 第2駐車場は国道501号線の浦川水路沿いにあり、来場者

の駐車場不足を補うため整備された。年数回草刈り等をしている。

問 第2駐車場は何年に整備されたか、また何台の駐車が可能か。

答 (まちづくり課長) 平成7年より使用開始し、駐車台数は約20台である。

答 (まちづくり課長) 不法な駐車等でなく、不適切な使用であるということでも撤去をお願いした。その後、車等の撤去はされたので、処分は考えていない。

問 この駐車場の一般の利用は少なく、何十年も近隣の人の営業車や家用車が駐車し続ける、不法占有状態があつたのでは。町は把握していたか。

問 その当時、目的外使用の許可申請はあつたのか。

答 (まちづくり課長) 金魚と鯉の郷広場と関係のない車がとまっているという指摘で、車の使用者に撤去をお願いした経緯がある。その後は適切な対応が行われていると考えている。

答 (まちづくり課長) 行政財産使用料条例に基づく使用許可証等の申請はあつていない。

問 フェンス等の設置が必要では。

答 (まちづくり課長) フェンス等については、開閉等の問題や周辺への影響、利用状況等を含め検討していきたい。

問 近隣の人が私物化していたのは明らか。その期間について条例違反として処分すべきでは。

答 (まちづくり課長) フェンス等については、開閉等の問題や周辺への影響、利用状況等を含め検討していきたい。



エプロン姿もサマになってます

問 食育の観点から世
代別施策は何か。
(福祉保健介護課長)

答 乳幼児期は家庭で
の食習慣への栄養指
導。学童期は養護教諭、
管理栄養士と連携し
『早寝・早起き・朝こほ
ん』活動の展開。青壮
年期は健診後の栄養指
導。高齢期は介護予防
拠点へ栄養士の派遣や



福本みや子議員

町民の健康は“食”から!!

【答】食・栄養面から地域に出向く活動を進める

食生活改善推進員の講
話等を行っている。

問 青壮年期への取り
組みが足りないよ
うだ。高齢期の疾病予
防のため、今一番施策
が必要な世代ではない
か。

答 (福祉保健介護課長)
具体的な取り組み
が無いのが現状。青壮
年期の多くが所属して
いる町内事
業所と町の
施策を連携
させるよう
な予防活動
を考える。

問 働き盛
り世代
の健康に管
理栄養士の
活用をどう
考えるか。

答 (福祉保健介護課長)
食の専門家として
家庭の食卓に関わり先
の世代の疾病予防に繋
ぐよう地域に出向いた
支援活動を行っていく。

問 行政だけでなく、
食への関心が高ま
るよう意見交換の場を
作ってどうか。

答 (町長)
生産者、流通、消
費者等広く意見を聴き
長洲産農水産物の振興
を図り、食育の推進に
努めたい。

問 4校の校長、教頭を直
ぐ招集し、配慮をした。
災害が起こった場
合、児童生徒の行動
や安否確認はどうか。

答 (学校教育課長)
自主避難所の学校
管理職の初期対応
はどうだったのか。

答 自助を基本に
防災訓練を実施している

災害時の学校現場の行動マニュアルは

答 (学校教育課長)
学校内に居る場合
は安全教育全体計画に
沿い、自助を基本に訓
練を重ねており安否確
認も出来るが、家庭に
居る場合は策定してお
らず反省している。

問 安否確認の手段と
して学校と保護者
を結ぶネットワークが
必要ではないか。
(学校教育課長)

答 (学校教育課長)
緊急連絡網と併
せて、民間企業のメー
ル配信システム等の
導入や活用を学校や
PTAで検討する必
要がある。



高いところへ さあ急げ



大森秀久議員

子どもの貧困について実態調査をしているか 答現時点で個別の実態調査等は行っていない

問 本町における子どもの貧困について実態調査をしているか。していれば、状況やその内容を伺う。

答 (町長) 他自治体では、子どもの貧困について個別の調査を実施しているところもあるが、本町では現時点で個別の

実態調査等は行っており、長洲町の貧困率といった数値も持っていない。

問 国の国民生活基礎調査だけの材料で調べるのは、やはり難しいということか。

答 (子育て支援課長) 自己肯定感は幼少期のうちに形成されていく部分が大半で、保育所や幼稚園で成長に合った支援、一人一人に目を配りながら、健やかな成長に努めている。

問 国の国民生活基礎調査だけの材料で調べるのは、やはり難しいということか。

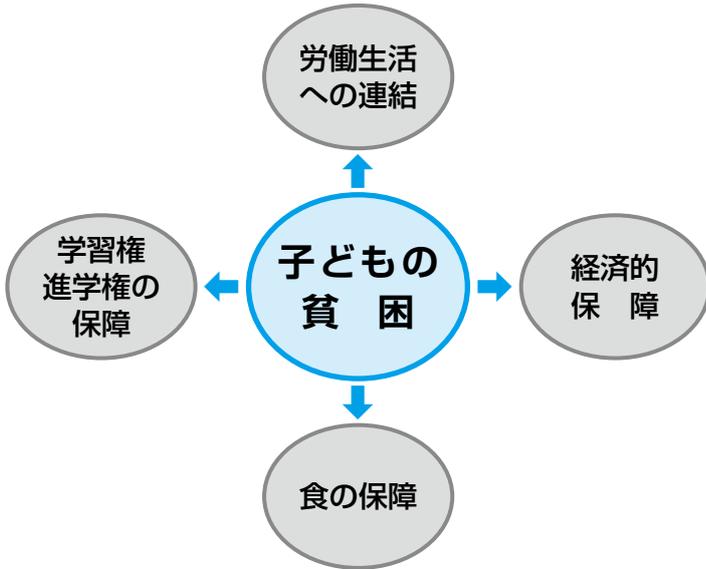
答 (町長) 正規職員が非正規職員かの問題で、できるだけ正規職員になり、所得の向上を図る意味で述べたものである。

問 国の国民生活基礎調査だけの材料で調べるのは、やはり難しいということか。

答 (町長) 正規職員が非正規職員かの問題で、できるだけ正規職員になり、所得の向上を図る意味で述べたものである。

問 国の国民生活基礎調査だけの材料で調べるのは、やはり難しいということか。

答 (町長) 正規職員が非正規職員かの問題で、できるだけ正規職員になり、所得の向上を図る意味で述べたものである。



子どもの貧困対策4つの処方箋

子どもの貧困をなくす処方箋は

教育の平等化が一つの施策

問 貧困の連鎖が社会問題になり、貧困

のなかで育つことで、自己肯定感の低下、行

動の無謀化につながるなどの悪い影響が考えられる。町で子どもの貧困をなくす処方箋として具体化されている事例はあるか。

相対的貧困率・子どもの貧困率の年次推移 (厚生労働省「平成26年国民生活基礎調査の概況」から作成)

調査実施年	1985年	1988年	1991年	1994年	1997年	2000年	2003年	2006年	2009年	2012年
相対的貧困率(%)	12.0	13.2	13.5	13.7	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1
子どもの貧困率(%)	10.9	12.9	12.8	12.1	13.4	14.5	13.7	14.2	15.7	16.3
子どものいる現役世帯(%)	10.3	11.9	11.7	11.2	12.2	13.1	12.5	12.2	14.6	15.1
大人が一人	54.5	51.4	50.1	53.2	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6
〃 二人以上	9.6	11.1	10.8	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4

* 貧困率とは 世帯の可処分所得の真ん中に位置する中央値の、半分に満たない世帯の割合



ながすの未来を切り拓くのは若者たち



竹本信次議員

なぜ若者の地元離れが止まらないのか!?

答 若者の創造性を引き出す雇用戦略を推進したい

問 「地元就職した
いけど求める企業
がない」、「地元に戻り
たくても戻れない」と
いうハードルの高さがあり、若者が地元に残

るのはほんの一握り。
若者雇用戦略は。

答 (町長)
町内主要企業の新
製品、新技術開発で雇
用拡大を、また若者定

住促進住宅やインフラ
整備等、若者の創造性
を引き出す雇用戦略を
推進したい。

問 わが町の労働市場
の現況及び本年の
町内新卒採用状況と雇
用対策は。

答 (町長)
町内主要企業の新
卒採用は102人で、
地元新卒採用は、大卒

8人、高卒16人(内女性
2人)の24人であった。
労働人口は4,750
人(町内1,288人、
町外3,462人)とな
った。企業等連絡会
議を開催し、企業担
当者と高校進路担当者
との交流や雲仙・島原
の高校との交流を図
っている。

りたい方、買いたい方
へ農地情報を公開して
いる。また農地利用の
集積集約化を行う農地
中間管理機構等を活用
し、耕作放棄地の非農
地化に向けた取り組み
を図っている。

耕作放棄地の現状実態把握と 活用戦略を!!

答 「農地バンク」の
戦略的活用を推進したい

問 わが町の耕作放棄
地面積は年々増大
し78.4haとなってい
て、東京ドーム約17個
分に相当する。耕作放
棄地を解消するための

答 (町長)
耕作放棄地の解消
に向けて、農地台帳を
全国の農地ナビシステ
ムへ登録し、農地を借

問 耕作放棄地の有効
活用に向けて、農
業、健康・医
療関連産業な
ど成長分野の
企業誘致と地
域づくり及び
土地確保のあ
り方等につい
ての考えはあ
るか。

答 (町長)
農業的土
地利用と都市
的土地利用の
整合について
は、バランス



遊休農地を活用した地域づくり

問 耕作放棄地の有効
活用に向けて、農
業、健康・医
療関連産業な
ど成長分野の
企業誘致と地
域づくり及び
土地確保のあ
り方等につい
ての考えはあ
るか。

答 (町長)
農業的土
地利用と都市
的土地利用の
整合について
は、バランス



荒木睦子議員

「ふるさと納税制度」ふるさと長洲町を応援！

答長洲町のいちおし特産品も紹介

問 進学や就職を機に、今は都会に住んでいても、生まれ育ったふるさと長洲町を応援するため、自分の意思で幾らでも納税できるのが「ふるさと納税制度」だ。本町の現状と今後の取り組みは。

答 (町長) 開始時の平成20年度は4件の29万5千円だったが、年々増加して、平成27年度は218件の827万円となっている。

問 納税された方へのお礼として特産品が送付されるが、一番人気は何か。

答 (まちづくり課長) 有明海のノリだ。ふるさとチョイスというのは、どのようなサイトか。

答 (まちづくり課長) まちづくり課長 インターネットを通じて、ホームページが開設されており、ふるさとチョイスで検索を行う。手続きが簡単

問 企業版ふるさと納税とは、どのようなものか。

答 (まちづくり課長) そのサイトから特産品の紹介も行っている。

答 (まちづくり課長) 各自自治体の総合戦略に基づく事業を実施するに当たり、国の認定を受ける必要がある。



町の魅力を伝える「特産品」

男女共同参画の視点で考える防災対策は

答 ともに支え合う

防災のまちづくりが重要

問 防災のまちづくりを進めていくための生活に根差した身近な経験や知識を生かした日ごろの備えや取り組み、男女がともに支え合うことが必要。本町

答 (町長) 防災行政を進めていく上でも、男女共同参画の視点が大変重要である。

備える 家族の人数×4日分(12食)



食べる 3 2 1 買い足す



もしもの時のいつもの備え (ローリングストック法)

問 備蓄用品のうち、女性用品や乳幼児用品はどのようになっているのか。

答 (総務課長) 役場庁舎及び関連施設に乳幼児用粉ミルク、おむつ、女性用生理用品等を備蓄している。

問 ローリングストックのいつもの備え(もしくは)の期限がせまった品物はどのようにしているか。

答 (総務課長) 備蓄は平成23年からのので今年度で5年間の期限となる。保育所や防災組織の訓練で使う予定。

答 (総務課長) 備蓄は平成23年からのので今年度で5年間の期限となる。保育所や防災組織の訓練で使う予定。



道路の拡幅は住民の願い



磯野 博議員

一ノ割住民説明会の開催は

答 区長さんから住民へと考えている

問 一ノ割地区について、今後、この地区を町はどう位置づけし、まちづくりを進めていくのかを伺う。

答 (町長) この地区は、役場等の公共施設や長洲駅に近接しており、交通の便や住環境等の利便性もすぐれていること

から、道路を整備することにより、宅地化を促進できないか検討してきた。当然、道路の整備については、地権者の理解と協力が不可欠であり、平成28年2月に地権者への説明会を開催し、協力をお願い

した。6メートル道路の整備については、地権者の理解が得られない状況であり、今後は地権者等の自発的な取り組みを促し、狭あい道路拡幅整備事業による整備を進めていきたい。

なぜ4メートルの道路整備なのか

答 地権者の理解が得られない

問 地権者の説明会には参加してないものと思われる。住民はこの説明会が開催されたことを知っているのか。

方向で進めていくと説明した。地区全体に対する説明会等は実施していない。

答 (まちづくり課長) 今後の方針、決定された方針を一ノ割の住民に周知してあるのか。

問 住民向けの説明会等を区長さん同席のもとで開催する必要がありますか。

答 (まちづくり課長) 区長さんにもこの

答 (まちづくり課長) 地権者から6メートル道路には印鑑を押

さないといった厳しい意見をいただいている。まずは地権者の理解が…。地域全体の説明会等は、区長さんを通じてと考えている。

答 (建設課長)

町道認定は現在考えていない。

問 道路ができなければ、家が建たなければ、家族がそこに住まない。子どもがそこに住まなくなるといった悪循環が生まれる。地権者の考えとそこに住む方との考えは違うものと思

う。共通の課題として地権者にも理解、協力をしていただく努力をするべきと考える。3月9日付の今度の方針を撤回する考えは。

答 (町長)

地権者のご理解が一番かと思う。時間がかかるかもしれないが話をしていきたい。



道路整備は行政の責務



浦辺朝章議員

わが町の防災・減災への対策を問う

答 防災体制の強化・充実を図る

問 今までの防災計画には、地震、津波への想定が足りなかったのでは。どの程度の想定をしていたか。

答 (町長) 平成25年度に地震

マップを作成し、揺れやすさ等を表示。津波については、県の想定では津波高3.4m・高波0.8m、浸水は2.0m以下となっている。

問 予測できる地震の規模と被害の程度はどれくらいか。

答 (総務課長) 雲仙断層群でのマグニチュード7.6を想定。被害の規模は、建物の倒壊率が上沖洲地区で30%未満と想定している。

問 防災のまちづくりについて町の考えは。

答 (町長) 今回の地震を踏まえ、地域防災計画の修正を行うとともに関係機関、地元住民と連携協力し防災体制の強化・充実を図り、防災のまちづくりを推進していく。

答 補助制度の創設を予定している

問 木造住宅の耐震診断や耐震改修への補助制度について。

答 (町長) 昭和56年5月31日以前に着工された建築物は耐震基準を満たしていないものが多く、これらの木造住宅には耐震診断や耐震改修への補助制度の創設を予定している。

耐震診断、耐震改修への補助は

件、金額は耐震診断で上限8万6千円、耐震改修で1戸につき60万円を限度としている。



防災マップの見直しを

答 (町長) 避難所の備品については、今後検討し備えたい。避難所運営マニュアルは作成してない。防災計画の見直しと併せ策定したい。

問 自主避難所の備品と運営マニュアルは。

答 (町長) 今年度修正を行い配布する計画である。

問 ハザードマップの見直しはあるか。

答 (町長) 今年度修正を行い配布する計画である。

問 防災教育の取り組みについて。

答 (教育長) 防災計画危機管理マニュアルに沿って年2〜3回防災訓練を実施している。

問 長洲校区では避難所が各学校となり、今回の地震での避難にも成果が活かされた。

答 (建設課長) 耐震診断で5件、改修で2

問 振興計画では予算が29年度に上つているが内訳は。



望まれる耐震改修への補助制度



宮本哲太郎議員

みなと憩い広場のポイ捨てが多い。対策は

答 美化条例を守るよう指導する

問 みなと憩い広場の管理運営についてどのように行われているか。広場の整地はどうなっているか。入口に使用についての禁止事項が明示してあるが守られているか。広場横に力キ設のついたま

答 まの漁船が放置され臭いがするが。(町長)

まの漁船が放置され臭いがするが。(町長)

県の漁船が放置され臭いがするが。(町長)



フェリーが見える“みなと憩い広場”

設の老朽化に対する補修、改修については県が行う。清掃についてはシルバー人材センターへ週3回委託している。花壇の手入れは区で行っている。広場の整地は必要に応じて町が行う。利用に係る看板はモラルとマナーを促すよう記載している。漁船については漁協へ対応をお願いしている。

問 広場の使用目的は何か。(建設課長)

答 近隣の方々がウォーキング等で健康づくりやグラウンドゴルフをされ、地域コミュニティの場として活用されている。

問 トイレは男女共用だがなぜか。

答 (まちづくり課長) 使用頻度を考慮して共用トイレとなった。いろいろな問題が多数発生中で大丈夫か。(まちづくり課長) 安全に配慮しており緊急プザーも設置している。

問 横のキャビネットには何が入れているのか。(まちづくり課長) 掃除用具などを入れてある。

問 カギがかかっているが、誰が保管しているのか。(まちづくり課長) 町と区長とシルバードで保管している。

問 禁止事項を守られていないが知っているのか。

答 (町長) 今回、避難所の課題もたくさんあったので、改めて検討し解消に向けた対策を取る。

防災対策の強化を

答 課題がたくさんあり

解決に向け努力する

問 熊本地震について各議員からも質問がたくさんあった。今後は対策を立案してしっかりやってみてほしい。

答 (町長) 今回、避難所の課題もたくさんあったので、改めて検討し解消に向けた対策を取る。

問 トイレは男女共用だがなぜか。

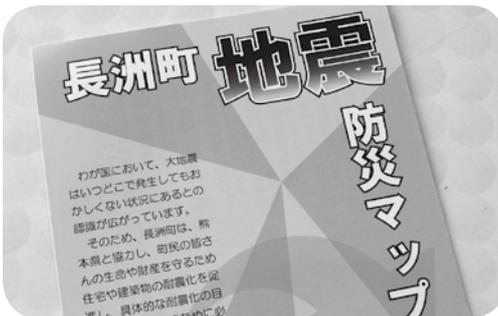
答 (まちづくり課長) 使用頻度を考慮して共用トイレとなった。いろいろな問題が多数発生中で大丈夫か。(まちづくり課長) 安全に配慮しており緊急プザーも設置している。

問 横のキャビネットには何が入れているのか。(まちづくり課長) 掃除用具などを入れてある。

問 カギがかかっているが、誰が保管しているのか。(まちづくり課長) 町と区長とシルバードで保管している。

問 禁止事項を守られていないが知っているのか。

答 (町長) 今回、避難所の課題もたくさんあったので、改めて検討し解消に向けた対策を取る。



地震対策の強化を



市原一広議員

大きな余震が続く中、町は避難所の閉鎖が早すぎる

答 今後は、閉鎖の時期、時間については検討していく

問 4月14日と16日に益城町・熊本市を震源として、震度7を越える地震が2回発生し大きな被害をもたらした。その後も17日

19日の連日、余震が80回を越え、震度5強の地震も発生している。町は16日、午前1時49分に9カ所の自主避難所を開鎖したが、翌17

日午後4時に全ての避難所を閉鎖している。大きな余震が続く中、また気象庁も大きな余震への十分な警戒を呼びかけている中で、なぜ全て閉められたのか。

答 その最大の理由は余震が恐かったからだ。今後、避難所の閉鎖の時期については慎重に考えてすべきではないか。

問 「遅いあなた」が主役です」の健康マラソンは開催されないのか。健康増進、町のPR、特産品の販売、活性化につながると思うのだが。

答 健康増進を目的とした、フレンドリー部門を設け実施したい



早すぎる避難所の閉鎖

答 (町長) 17日の午後1時に全ての避難所の避難者が帰られ、町内では、電気・ガス・水道・道路等のライフラインの停止や住宅の倒壊もなく、また夜間は避難所も冷え込み、身体の疲労等を考慮すれば、自宅を過ごすことが最適であると判断し、17日の午後4時に閉鎖した。

問 町の避難所が閉められた後、荒尾市や玉名市の避難所に避難する町民、車中泊する町民の方もおられた。

答 (総務課長) 以前のようなサイレン音にできないか、再度申し入れてみる。



まちの活性化と健康増進へ



大きな地震への備えは



浜村芳光議員

本町の避難所は大きな地震に耐えられるか

答 指定された耐震基準値を満たした耐震性の高い施設

問 熊本地震では県内の避難所が使えなくなりました。多くが公立小中学校の校舎や体育館である。本町の施設は大きな地震に耐えられるか。

答 (町長) 教育施設を含む全ての指定避難所においては新耐震基準を満たしており、震度7程度の地震を想定した耐震性能となっている。

問 地震による家屋の一部損壊を受けた町民への被災者支援の考えは。

答 (町長) 住家の全壊半壊がないので一部損壊者への支援は考えていない。

問 今回の地震で水道管の破裂による漏水は。

答 (水道課長) 配水管からの漏水

問 地震による家屋の一部損壊を受けた町民への被災者支援の考えは。

答 (町長) 住家の全壊半壊がないので一部損壊者への支援は考えていない。

問 今回の地震で水道管の破裂による漏水は。

答 (水道課長) 約11キロで約4割。

答 JR九州と協議を行うも厳しい

長洲駅のバリアフリー化を

問 長洲駅は橋上駅で利用者は大変である。利便性を高めるバリアフリー化が必要だと思うが、JRに要望はされているか。

答 (町長) JRに要望を行っているが、バリアフリー基本方針により、1日の利用者が3000人以上の駅をバリアフ

問 要望の内容は。

答 (まちづくり課長) 障がい者や高齢者等の負担軽減のため、ホームに上り下りする4カ所にエレベーター設置を要望している。

答 (町長) 今後、駅前地区の整備が進めば駅舎の建て替えも話が出ると思う。その中でバリアフリーの駅を検討したい。

問 駅の改修とか建て替えの話は。

答 (まちづくり課長) 改修等の話はなし。



バリアフリー化が必要(長洲駅)

町民のひろば

町民の声

震災応援で感じた青年部活動の大切さ

長洲町商工会青年部部长 中島 貴之 さん



「物資が何もない。」被災した青年部員からのSNSが携帯に送られてきた。直接被害のない我々は、次の日には有志を募り、商工会仲間の待つ益城町へ向かった。メディアで状況は把握していたが、実際に倒壊した建物に唾然とするばかりだった。

支援物資を降ろし、必死で被災者の対応をする。気付けば、最初10名前後だった青年部が50名ほどになり、大きな一体感が生まれていた。震災初期から1週間の対応の大切さを感じ、日替わりで毎日行き「何が今必要なのか」現場の声を共有化した。

初期は水やトイレの芳香剤、ペーパーなど多岐にわたる。3日目以降、トマトやイチゴなどの生鮮食品を届けた時には、被災者と子どもから笑顔と感謝の言葉をもらった。そして支援拠点からの情報で、物資が足りない場所に車やトラックに“支援”を掲げ、届けた。

負担が多く、モチベーションも低下する。しかし、被災者の声や頼りにされている状況に何度も奮起した。やがて住民や行政、自衛隊員その他大勢の人たちと一体感が生まれた。

商工会青年部は「困った時に駆けつける地域の身近な存在」として、多くの人たちとの絆を認識できた。初期での対応の素早さは「人の支援拠点」として、輪を広げる力になったと感じる。

もし逆の立場なら皆が来てくれる。言葉以上に絆の深さを知った。一日も早い復興へ、今後も支援の輪を広げていきます。

傍聴席から一言

議会審議からのつながりに期待

大山真理子さん（建浜区）



議会初日と2日目の一般質問の一部を傍聴しました。

4月の熊本地震後の最初の定例会であり、地震関連の質問が多く通告されていました。

津波注意報発表後の避難では、混乱が生じていたそうです。そういえば、本震後外に出てみると、海側から北へ向かう車が何台も走っていたし、近所の人でも避難すべきかと心配されていましたが、注意報なので大丈夫ではないかと会話を思い出しました。

今定例会でのやりとりが、防災や減災につながるよう期待しています。

ひと言

甚大な被害をもたらした地震、豪雨、さらに夏の暑さと、私達は自然界から試されているようです。ならば、日常生活に向こう三軒両隣のコミュニティを生かして、知恵を集め防災に取り組みしましょう。今回の一般質問や補正予算審議もわが町の明日を見すえての緊張感あふれる議会となりました。また7月には、全国町村議会広報クリニックできめ細やかな

指導を受け、各地の広報紙に多いに刺激されました。おかげで心機一転での編集作業となった次第。
(福本)



皆さん傍聴に出てこんわ!

次の定例会は

9月12日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行責任者	委員	委員	委員	委員	副委員長	広報委員
議長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
松井一也	樋口エミ子	浦辺朝章	荒木睦子	大森秀久	福本みや子	徳永信次